

【視察調査報告書】

会 派 名	八王子市議会公明党
参 加 議 員	【議員】 10名 村松徹、五間浩、中島正寿、美濃部弥生、渡口禎、 富永純子、久保井博美、日下部広志、森重博正、古里幸太郎
日 程	令和8年（2026年）4月15日（水）
詳 細	
視 察 先	町田市 町田忠生小山エリア中学校給食センター「Loop Nanakuniyama」
視 察 内 容	<p>町田市中学校給食センターは PFI 方式により整備・運営されており、民間事業者の提案を活かした取組が行われている。</p> <p>緩和型特別用途地区制度を適用し、周辺環境に十分に配慮しながら、工場用途の立地を特別に可能にする、新たな都市計画を導入している。</p> <p>特に特徴的なのは、センター内に地域食堂として誰でも利用できるカフェを併設し、給食ランチ(1食 680円 で提供。325円を市へ支払い、残額をカフェ収入とする)の提供を行っている点である。</p> <p>カフェの1日の売り上げは、平日休日ともに2~4万円。</p> <p>また、同センターは飲食提供に加え、キッズルームの運営、多目的室の貸出業務、地域交流の場の提供、などの役割を担っている。</p> <p>PFIを運営するSPCからの提案を受け、地域のイベント(桜祭りなど)の時にはアルコールも販売している。「民間ならではの発想だった」と説明を受けた。</p> <p>地域に開かれた様々な取り組みの一方で、収益面では課題があり、今後は防災イベントや食育事業などを組み合わせた持続的な運営が求められるとのことであった。</p>
概 要	<p>町田市では、従来のデリバリー方式による中学校給食提供から、給食センター方式へと転換を進め 2025年度までに全員給食を実現した。温かく栄養バランスの取れた給食提供を重視し、市内を4つのエリアに分けて運営している。</p> <p>また、単なる給食調理・提供にとどまらず、地域に開かれた拠点(地域食堂)としての役割も担うことを目指している。</p>
所 感 等 (意見・課題・ 本市への反映など)	<p>本給食センターは、調理・配送機能にとどまらず、地域住民の健康づくりや交流を支える拠点として発展している先進的な事例である。民間の力を柔軟に活用し、市民が気軽に利用でき、身近に感じられる工夫が随所に見られた。</p> <p>特に、PFI事業者の提案を活かしたカフェの併設は、専門業者による洗練された内装など、民間のノウハウを生かして公共施設の価値を高めている好事例だと感じた。</p>

実際に試食もさせていただき、おしゃれで落ち着いた雰囲気の中、10人でテーブルを囲みながら、温かくおいしい給食を味わうことができた。

視察の様子



